

# 中小企業景気動向調査

(2022年10~12月調査)

目次

- 全業種業況概要(業況~設備の状況) ..... 1
- 業種別業況の推移 ..... 3
  - 製造業/卸売業/小売業 ..... 4
  - 建設業/サービス業/不動産業 ..... 5
- 特別調査(2023年(令和5年)の経営見通し) ..... 6

●調査方法

この調査は中小企業を対象に取引先に出向き、聞きとりしたものです。

●調査時点

2022年12月初旬

●調査対象時期

2022年10月~12月実績及び  
2023年1月~3月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	52	92.9
卸売業	21	10.5	14	66.7
小売業	42	21.0	32	76.2
建設業	32	16.0	29	90.6
サービス業	32	16.0	29	90.6
不動産業	17	8.5	14	82.4
合計	200	100.0	170	85.0

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

A=良い(増加・上昇・過剰)  
B=ややA  
C=普通(変わらず・適正)  $D.I=A \cdot B - D \cdot E$   
D=ややE  
E=悪い(減少・下降・不足)

企業が景況判断・予想を5段階(A.B.C.D.E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業の全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況・売上額・収益すべてが改善

金沢信用金庫が行った中小企業170社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率85.0%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」)の構成比、以下同じ)は7.1(前期△12.5)と19.6%改善した。

業種別では、製造業が23.1(前期△13.0)と36.1%改善、ほかサービス業が6.9(前期△20.7)と27.6%、建設業が13.8(前期△3.4)

と17.2%、卸売業が21.4(前期6.3)と15.1%、小売業が△18.8(前期△20.6)と1.8%改善したが、不動産業は△21.4(前期△14.3)と7.1%悪化した。全産業ベースでの来期予想DIは△7.1と14.2%の悪化を予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは19.4(前期2.8)と16.6%改善、収益判断DIも10.6(前期△8.5)と19.1%改善した。来期予想では、売上額判断DIが△14.7と34.1%の悪化、収益判断DIも△24.7と35.3%の悪化を予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「原材料高」(全回答中41.2%)で、以下、「売上の停滞・減少」(全回答中32.9%)「人手不足」(全回答中32.4%)であった。また、当面の重点経営施策としては「経費の削減」(全回答中46.5%)との回答が最も多く、以下「販路を広げる」(全回答中38.8%)、「人材を確保する」(全回答中37.6%)という結果となった。

(注)2022年7~9月を前期、10~12月を今期、2023年1~3月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

業種名	時期	2021年(令和3年)				2022年(令和4年)				見通し 2023年(令和5年)
		1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
総合		☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️
製造業		☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☁️	☁️	☀️	☁️
卸売業		☔️	☔️	☔️	☀️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️
小売業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️
建設業		☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️
サービス業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☁️
不動産業		☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️

# 全業種

	2021年(令和3年)				2022年(令和4年)				見通し 2023年(令和5年)
	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
業況	△44.3	△48.4	△36.1	△12.4	△32.6	△15.8	△12.5	7.1	△7.1
売上額	△38.8	△18.1	△5.5	11.2	△25.7	3.4	2.8	19.4	△14.7
受注残	△29.4	0.0	3.5	18.1	△14.6	△2.4	△1.2	29.6	△21.0
収益	△36.1	△20.3	△12.6	2.2	△24.6	△4.5	△8.5	10.6	△24.7
販売価格	△3.3	△3.3	5.5	13.5	11.4	22.0	29.0	34.7	24.7
原材料価格	16.9	31.9	40.4	51.7	55.4	70.1	67.0	70.0	58.2
在庫	6.5	9.2	4.6	△5.4	3.4	0.7	10.2	△4.3	△3.5
資金繰り	△10.4	△17.0	△12.0	△12.9	△16.0	△7.3	△10.2	△11.2	△14.1
雇用(人手)	△3.8	△2.2	△14.8	△25.8	△15.4	△23.2	△30.7	△34.1	△28.8
設備状況	△11.4	△11.4	△13.0	△17.0	△10.6	△10.4	△16.0	△14.7	△12.8

## 設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた156社の動向です。

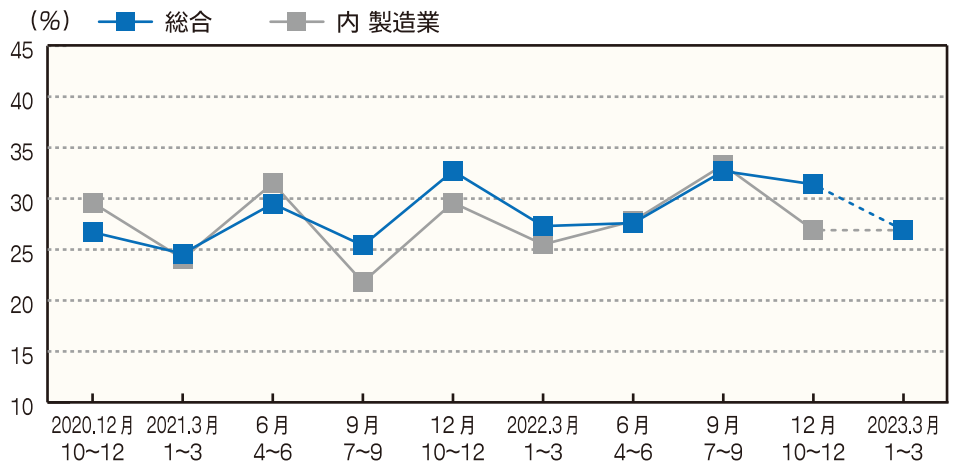
### ● 10~12月の設備投資実施状況

		有	無
		総合	数 49
	%	31.4	68.6
(内 製造業)	数	14	38
	%	26.9	73.1

(来期見通し)

		有	無
		総合	数 42
	%	26.9	73.1
(内 製造業)	数	14	38
	%	26.9	73.1

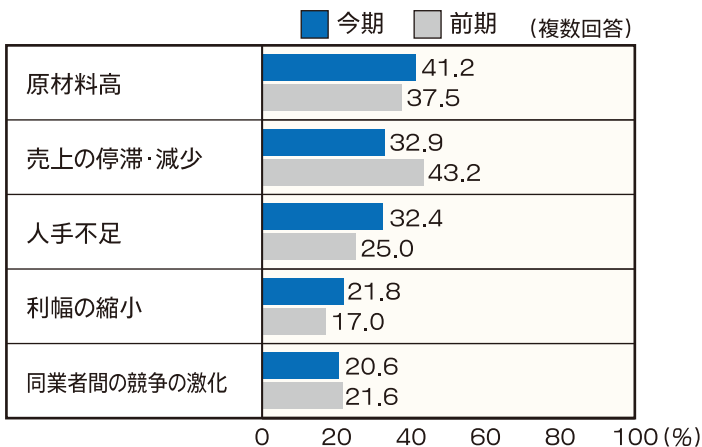
### ● 設備投資実施(予定)割合



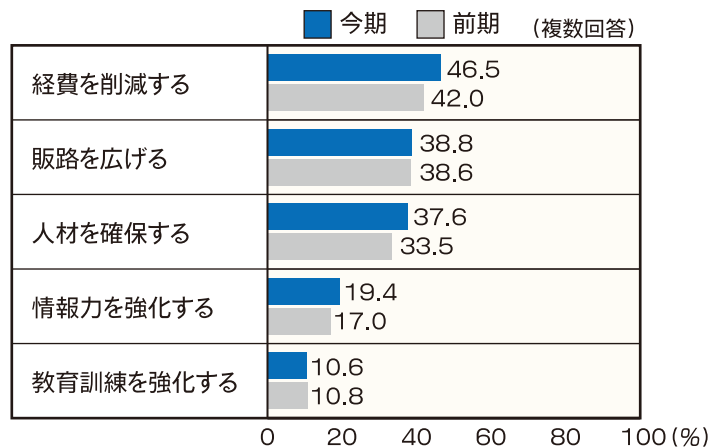
### ● 10~12月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
		総合	%	5.8	9.6	10.3	9.6
(内 製造業)	%	3.8	17.3	9.6	13.5	7.7	0.0

## 経営上の問題点



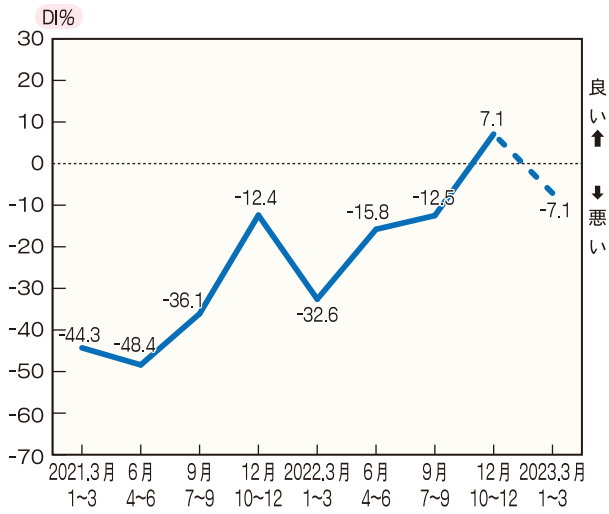
## 重点経営施策



# 全業種

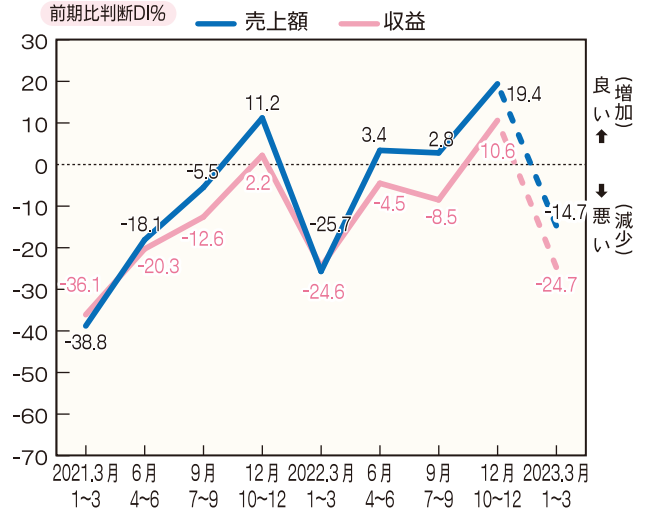
## 業況

前期から19.6ポイント改善



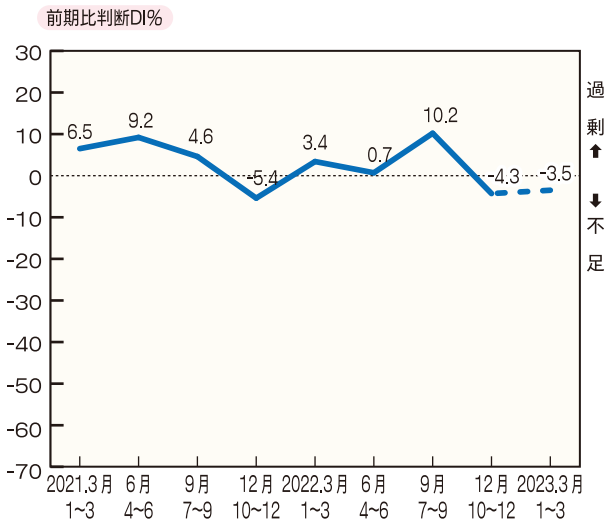
## 売上額・収益

売上額は16.6ポイント改善  
収益は19.1ポイント改善



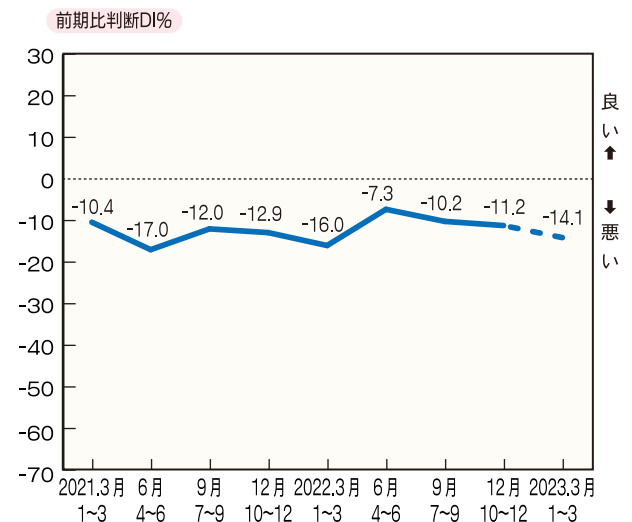
## 在庫

今期△4.3(前期10.2)と  
不足に転じる



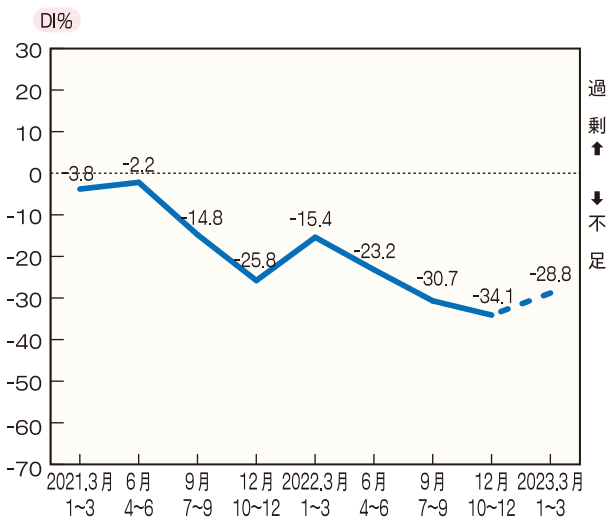
## 資金繰り

△11.2(前期△10.2)と悪化



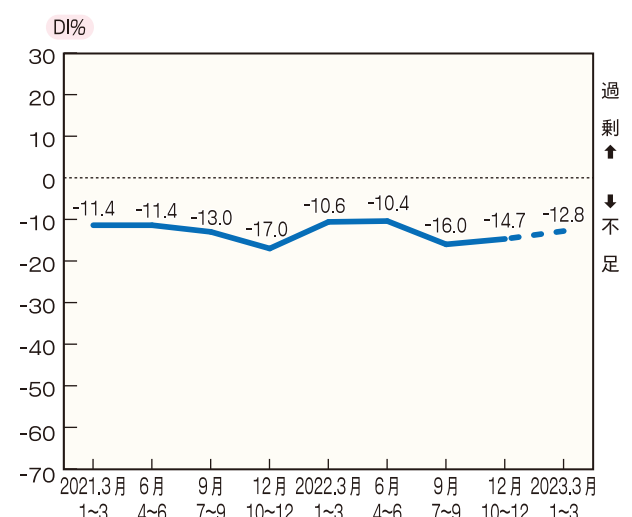
## 雇用

今期△34.1(前期△30.7)  
と不足感続く



## 設備の状況

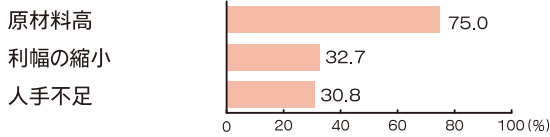
△14.7(前期△16.0)と改善



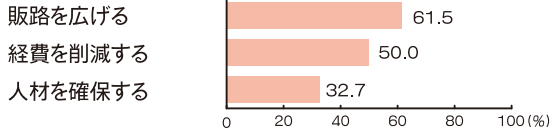
# 製造業

業況・売上額・収益  
ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



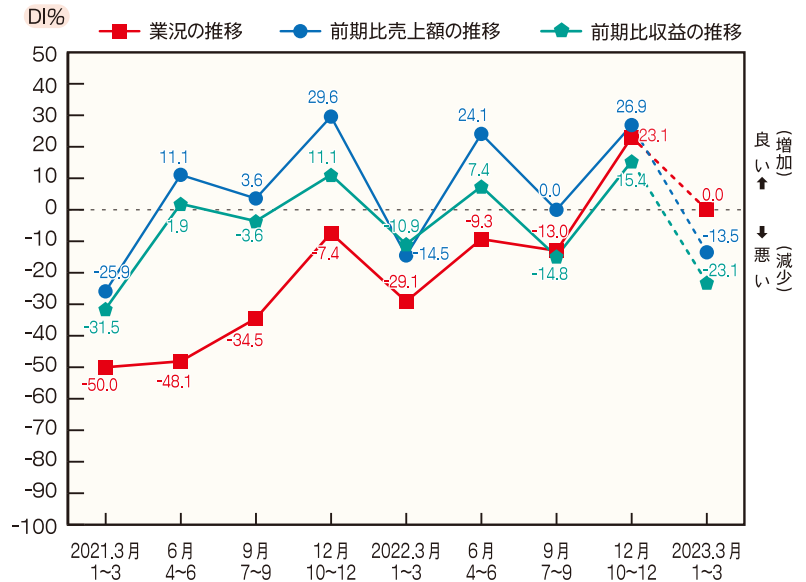
## ◆ 昨年同時期(2021年10~12月)に比した動き

売上額	34.6
収益	3.8

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	21.2%
借入の予定	23.1%

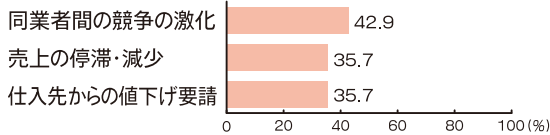
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



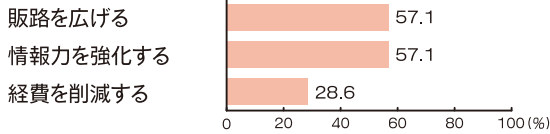
# 卸売業

業況・売上額・収益  
ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



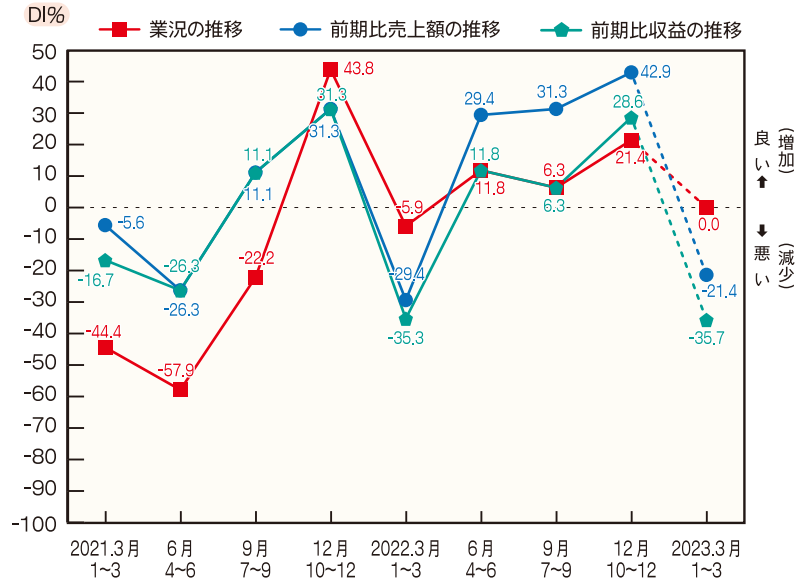
## ◆ 昨年同時期(2021年10~12月)に比した動き

売上額	28.6
収益	50.0
販売価格	50.0

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	28.6%
借入の予定	14.3%

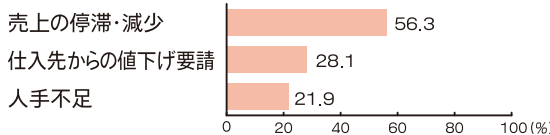
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



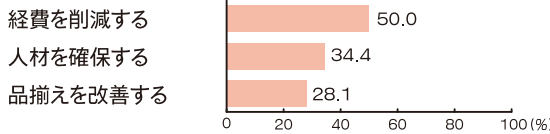
# 小売業

業況・収益が改善  
売上額はやや悪化

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



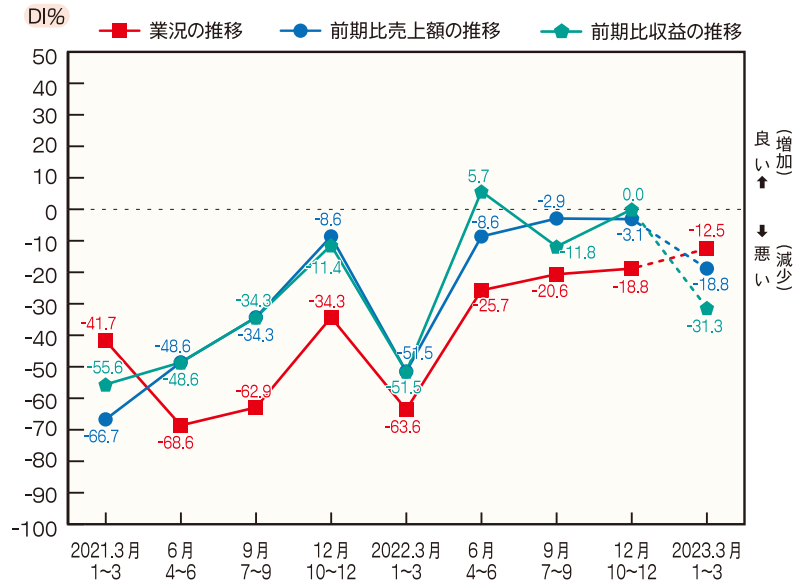
## ◆ 昨年同時期(2021年10~12月)に比した動き

売上額	△6.3
収益	△3.1
販売価格	43.8

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	21.9%
借入の予定	15.6%

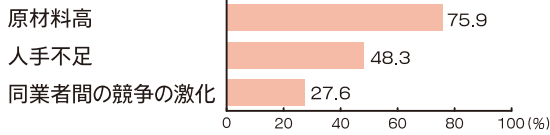
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



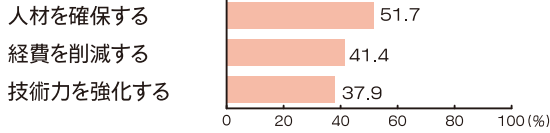
# 建設業

業況・売上額・収益  
ともに2期連続で改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



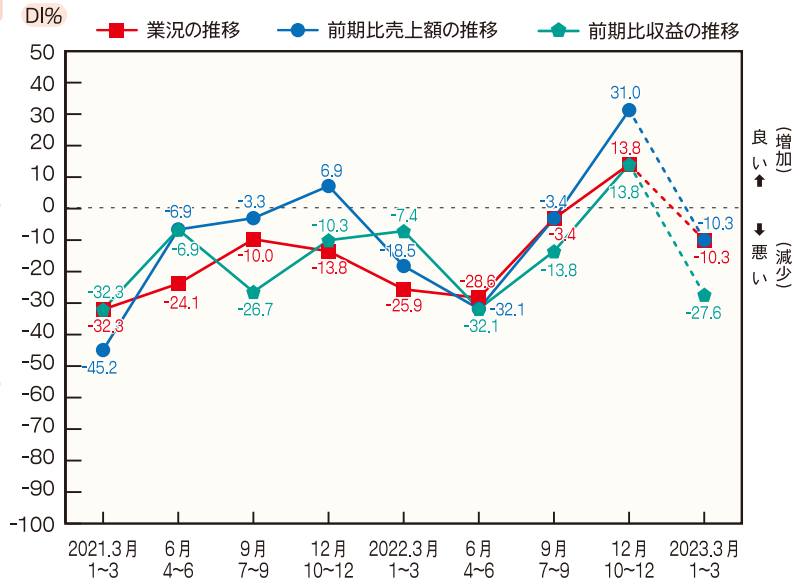
## ◆ 昨年同時期(2021年10~12月)に比した動き

売上額	10.3
収益	△3.4

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	31.0%
借入の予定	24.1%

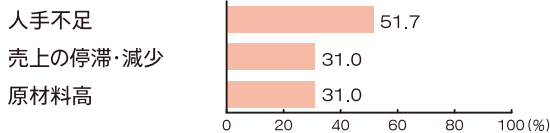
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



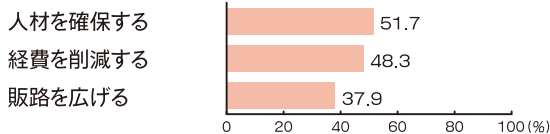
# サービス業

業況・売上額・収益  
ともに3期連続で改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



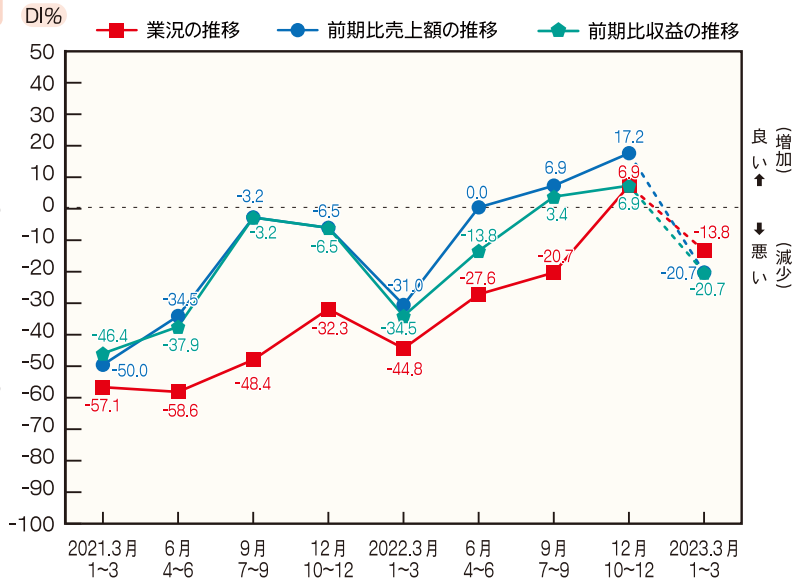
## ◆ 昨年同時期(2021年10~12月)に比した動き

売上額	34.5
収益	20.7

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	20.7%
借入の予定	31.0%

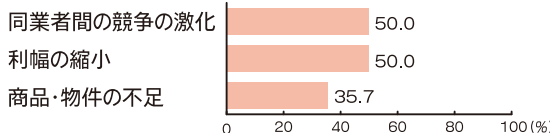
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



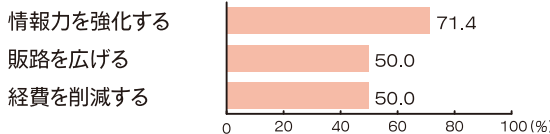
# 不動産業

業況は悪化するも収益は改善、売上額は横ばい

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



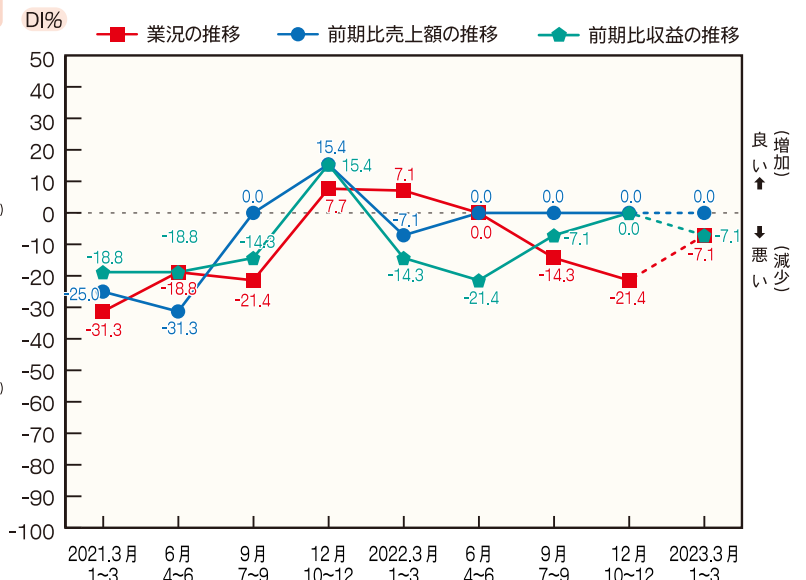
## ◆ 昨年同時期(2021年10~12月)に比した動き

売上額	0.0
収益	△7.1

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	42.9%
借入の予定	50.0%

## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移

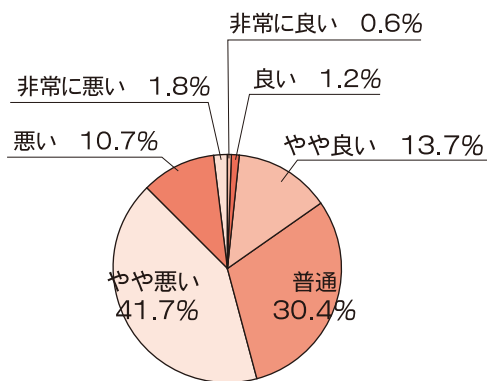




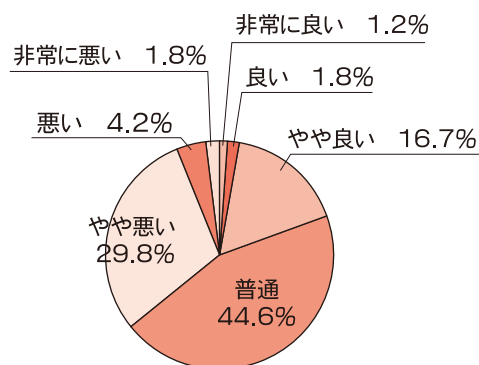
# 2023年(令和5年)の経営見通し

168社(無回答2社)に調査し回答をいただいたものです。

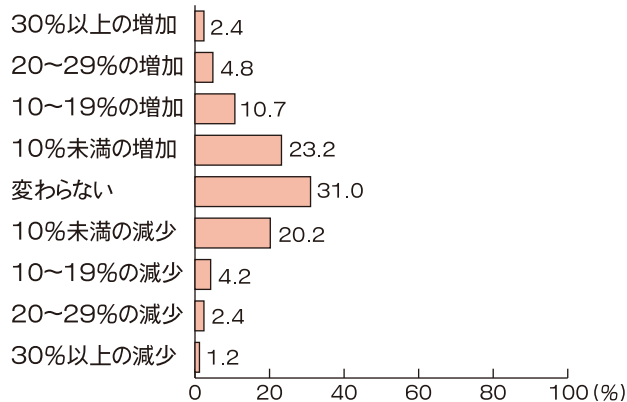
**1** 2023年の日本の景気をどのように見通していますか。



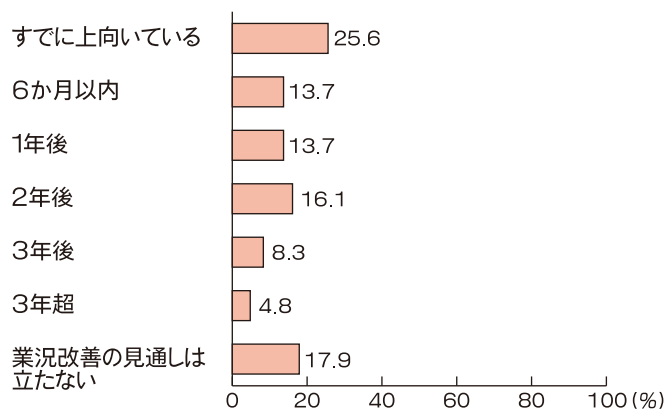
**2** 2023年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



**3** 2023年において自社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



**4** 自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



**5** 2023年の事業環境を展望したときの経営リスクは何ですか。(複数回答)

